

人権講演会・伊藤進さん 6・17

17日(金)20歳の時に車椅子での生活となられた伊藤 進さん(書家)に来ていただき、お話を伺いました。頸椎骨折により、当たり前であったことが当たり前でなくなり、障害という現実をなかなか受け入れることが出来なかった。10年間ベッドの上で生活する中で、自分自身を見つめ、問いかけた。「全てのことには意味がある」この言葉により、自分の心が急に動きだし、自分が車椅子での生活になっても意味があるのではと考えた。人との出会いにより、自分自身が変化し、何かが変わり、何かが起こりだした・・・

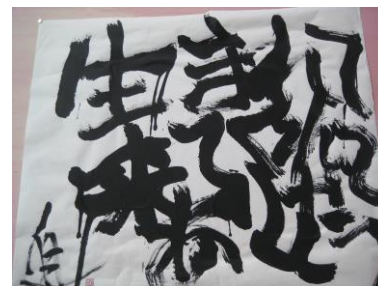
前向きに生きることの大切さ。

人間は一人で生きているのではなく、人との関わりの中で、自己の存在を知るために生きているのではないかなと語られました。

最後にパフォーマンスとして

【生まれてきてくれてありがとう】

のメッセージをいただきました。



【生まれてきてくれてありがとう】

今日は久しぶりに中学校での講演。家からそう遠くない豊中12中へ。生徒のみなさんは昼食後ということもあり眠そうでしたがけっこうしっかり聞いてくれました。中にはジッとこちらを見つめている生徒も。ありがたかったですねえ。

僕は楽しんでやれたのですが生徒のみなさんはどうだったんでしょうね。感想文を書くそうなのでもらえるのが楽しみです。パフォーマンスで書いた文字。これは以前自分に書いた言葉でしたが中学生のみなさんも自分に対して言ってほしくて書きました。

伊藤進さんのブログより

